

事業者向け

就労継続支援B型自己評価表

2022noda

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員20名に対し、 訓練作業室が60㎡以上確保できているか	○			元飲食店だったため、作業スペースとなる場所が広く確保できている
	2	職員の配置数は適切であるか（加算申請をしている場合は基準を満たしているか）	○			基準上は適切である
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		指定基準よりバリアフリー対象施設ではないが、事業所内にて難しい場合には利用者への配慮を行っている
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付・階段手摺など）		○		指定基準よりバリアフリー対象施設ではないが、事業所内にて難しい場合には利用者への配慮を行っている
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			月に1、2度職員会議を行い、利用者さんの様子についてや個人にあった支援方法について話し合いをしている
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して利用者または保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施済み
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			実施済み 会報誌に関して、今年1月から不定期だが、発行予定
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			○	コロナ禍の為、実施できていない
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、利用者または保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			利用者や保護者のニーズや課題を職員で共有し、毎日の記録を確認しながら作成をしている
	10	標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			契約時に使用している
	11	利用者特性に配慮した就労訓練を行っているか	○			利用者の特性を見極め、本人に合わせた就労訓練を行っている。スタッフひとりひとりが感じている内容を共有し、訓練方法に生かしている
	12	利用者特性に配慮した作業の配置になっているか	○			利用者の特性を見極め、本人に負担の無い作業配置を行っている
	13	利用者の能力向上のため適切な訓練を行っているか	○			職員と一緒に作業をし、能力向上する様アドバイスをしている
	14	利用者にやる気をもたせる工夫をしているか	○			日常の会話の中で良い点を見つけ、本人に伝えるようにしている
	15	利用者が働きやすく、作業に集中できる環境づくりを行っているか	○			集中力の持続が出来ない利用者にはパーティションなどを利用し、集中しやすい環境を整えている
	16	職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、職員間で打ち合わせ（朝礼・終礼）を行い、周知・共有を行っている。前日迄に打ち合わせを行っているが、当日の朝に再度確認をしている
	17	職員間で打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	○			送迎終了後、利用者の様子や気付き等を全員（常勤）で話し合っている。何か気付けばその日のうちに管理者に伝え、その後職員に共有している
	18	定期的に職員間で打合せを行い、自立に向けての支援内容や役割分担について確認しているか	○			月に1、2度支援会議を開催し、話し合いを行うとともに職員間で意見交換を行っている
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録については必ずその日のうちに行っており、いつでも誰でも閲覧できるようになっている
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別支援計画見直しの1、2か月前より個別にモニタリングを実施し、そちらを参考に職員会議のもと次の個別支援計画書を作成している

関係機関や保護者との連携	21	相談支援事業所のサービス担当者会議に、その利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議などには参加できていないが、管理者が定期的に相談員などに電話連絡をし、情報交換を行っている
	22	医療的ケアが必要な利用者を受け入れる場合は、利用者の主治医等と連絡体制を整えているか		○	現状、医療的ケアが必要な利用者はいないが、今後医療的ケアが必要な利用者が発生した場合は主治医との連絡体制を整えていく
	23	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に利用者または保護者へ確認をとっているか	○		連絡帳等で確認したり、お薬の詳細のコピーいただき、保管している
	24	発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	現在までは該当ないが、何かあった際には連携し、助言を得ていく。また、コロナが落ち着いたタイミングで研修への参加も行っていく予定
	25	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○	今後、野田市の専門委員会に参加する予定
保護者への説明責任等	26	運営規程、支援の内容、工賃、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		一人一人に時間を作り、丁寧に説明している
	27	利用者または保護者からの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎時に保護者から相談を受けた場合には、迅速にできるだけ丁寧に傾聴し、対応を行っている
	28	利用者または保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者または保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		先ず傾聴に重点を置き、次に一つ一つ丁寧に対応し、ご納得いただけるよう分かりやすく説明している
	29	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者または保護者に対して発信しているか	○		今年1月より開始、今後も定期的に発行予定
	30	個人情報に十分注意しているか	○		利用者と同意を交わし、HPに保護方針の記載のほか、職員間の同意書、会報作成時にWチェック等を行っている。
	31	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	○		利用者との同意書の取り交わしと説明を行っている
	32	障害のある利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		送迎時に丁寧な報告を心掛けている。出来るだけ理解しやすい言葉を使い、時間を掛けて説明を行うようにしている
	33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナ禍の為、実施できていない
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や利用者または保護者に周知しているか	○		事業所内に設置しており、いつでも閲覧できるようにになっている
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		消防署への届け出を年2回、その他定期的に色々な災害の発生を想定して訓練を行っている
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に行っている。委員会も設置し、情報の共有、適切な支援方法の理解を深めている
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者または保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか	○		機会がないが、身体拘束の必要な利用者がある場合には、対応方法について全職員と共有し、保護者に了承を得たうえで個別支援計画書に記載をする
	38	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在、食べ物アレルギーの利用者はいないが、今後は指示書等のコピーを保管し、全職員にも共有していく
	39	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	○		発生した場合はすぐに記録を作成し、事業所間で共有を行っている